

新聞の大切さ

富山県立氷見等学校

一年

西

栗月

「新聞」と聞いて、あなたはどんなことを

思い浮かべますか。難しそう、大人が読むと

のようだ、少しマイナスなことを思い浮かべま

せんか。確かに、新聞というものはそうゆう

部分があるかもしれませんが。しかし、私はそ

れとは正反対なイメージを持っています。私

にとっ、て新聞とは、私にりの生活にとっ、と

ても大切で、読みやすく情報を取りやすいも

のばと思っ、ています。私が新聞に対し、この

ようはイメージを持っ、たよっ、かけは、中学二

年生の夏休みの頃です。

お盆の時期に私は、母の実家に帰りました。

家には、祖父と祖母が住んでいます。家に入

ると、私の祖父は新聞を讀んでいました。最

初に見た時は、うほど私も氣にはしていません

んでした。しかし、その次の日の朝も、また

その次の朝も、私が母の実家にいる間、朝は

ずっ、と新聞を讀んでいました。私はその光景

を

を少し気に出し始めました。そんなこともあ
り、私は祖父に
テレビでニュースをやっているのはい、どう
して新聞を読むの
と聞きました。すると祖父は、
テレビニュースと、新聞の方が情報を
取り入れやすいんだよ
と言いました。最初聞いた時に、どうしてだ
ろうかという疑問がありました。テレビだって
聞くだけで情報を取り入れることができてく
、新聞より簡単だと思っていたからです。
ってそう思っていたのは私だけではないと思
います。私はその後にも疑問に思いながら祖
父にもう一度聞くことはありませんでした。
そのおと私は自分の家へ帰りました。
家に帰ってからも、その事が気には、
ていまして。だから私は、ために新聞を讀
んでみました。あまり今まで新聞を讀んだこ
とはありませんでした。だからその分、新聞
に對し、とてもたくさん新たな印象を持つこ

とができてきました。新聞は、テレビのニュースとは違い、自分の考えでその情報を取り入れることができるものだと思ってきました。テレビのニュースでは、ニュースキャスターの読み方や、テレビの演出などでそのニュースにたいしての自分の考えがテレビに合わせてつくられると思います。新聞はそれに対し、自分なりの考えで自分で読み、自分なりにそのニュースについて関心を持つことが出来るものだと思います。

私はそれ以来、祖父と同じように朝は新聞を読むようにバカがけています。難しそう、大人が読むものという新聞の概念を少し捨て、一度新聞も読んでみたらいどうでしょうか。ま、と自分の視野が広がると私は思います。